

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成 30 年 2 月 23 日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

～オランダの事例に学ぶ 演劇フィールドワークと地域力創造～

「野外円形劇場」でのワークショップ (参加者募集告知及び取材のお願い)



大正 12 年に結成された農民劇団「嫩葉会」の企画により、現在の道の駅うきは敷地内に大正 14 年に作られた野外円形劇場は平成 27 年に発掘され、保存整備後、昨年 12 月に披露が行われた。

地域の文化発信の拠点として今後の活用が期待されているなか、オランダから演劇的手法を用いた住民参加型のプログラムを通して地域活性化につながる活動を長年続けてこられた舞台監督・劇作家シュールド・ワーヘナー氏を招き、ワークショップを行う。

「住民自らが芸術活動の担い手となることで地域力を創造する」という氏の活動主旨を参考としながら、当市の様々な歴史・文化財を地域のためにどのような活用ができるのか考えていく。

日時: 3月3日(土) 10:00～、 集合場所: 道の駅うきは(研修室)

○プログラム：事例発表：ヨーロッパの文化財を用いたワークショップ(10:00～11:30 道の駅研修室)、フィールドワーク(11:30～12:30 円形劇場跡)、昼食(12:30～13:30)、意見交換(13:30～)

○対象者：うきは市の歴史・文化財に興味のある方(先着 30 名)、○参加費：無料(昼食は実費)

○申込先(2月28日締切)、問い合わせ先：

うきはブランド推進課ブランド戦略係 Tel.0943-76-9029

大正 12 年(1923)に結成された農民劇団「嫩葉会(わかばかい)」は山春村の医師安元知之(やすもと・ともゆき)氏の下に集まった青年達が、修養と娯楽を求めて結成した日本初ともいわれる農民劇団。活動は 4 年と短いものだったが、菊池寛の文芸作品やオリジナル脚本などで地元のみならず日田や久留米で公演活動を行った。

大正 14 年(1925)に完成した現在の「道の駅うきは」敷地内にある野外円形劇場は平成 27 年に発掘され、当時の姿がほぼ残されていることが分かり、保存と活用を図るための整備が行われ、平成 29 年 12 月に披露が行われた。



▲ 12月21日、「野外円形劇場」披露式での市民有志による演劇

編集・送信：うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索

2018. 2. 23 発表／オランダの事例に学ぶ 演劇フィールドワークと地域力創造…「野外円形劇場」でのワークショップ